

フードロス削減プロジェクト

東京・ダイワコーポレーション

当日キャンセルなどで廃棄のお菓子を寄贈

物流サービスを提供

返品されたお菓子を、

贈している。

する(株)ダイワコーポレーション(曾根和光社長、東京都)は、荷主である(株)ウイライツ(東京都)と、返品され、賞味期限まで十分に日数があるお菓子を沖縄県の南風原(はえばる)町へ贈る「フードロス削減プロジェクト」を昨年7月より開始している。

物流サービスを提供する(株)ダイワコーポレーション(曾根和光社長、東京都)は、荷主である(株)ウイライツ(東京都)と、返品され、賞味期限まで十分に日数があるお菓子を沖縄県の南風原(はえばる)町へ贈る「フードロス削減プロジェクト」を昨年7月より開始している。

全国の学童クラブを対象に事業を展開するウイライツのお菓子提供業務において、ダイワコーポレーションが物流を請け負っているが、「フードロス削減プロジェクト」は、当日キャンセルなどで倉庫へ

全国の学童クラブを対象に事業を展開するウイライツのお菓子提供業務において、ダイワコーポレーションが物流を請け負っているが、「フードロス削減プロジェクト」は、当日キャンセルなどで倉庫へ



発起人の佐藤係長(右)と岡部係長



発送作業の様子

返品されたお菓子を、贈している。2月末までに計17回、約2・2トンのお菓子を寄贈した。これまで返品されたお菓子の廃棄には廃棄料金が

かかっていたが、沖縄県への配送料金と比較すると料金を抑えることができたという。フードロス削減プロジェクトは、佐藤英経営本部ICTソリューション課係長と、岡部貴洋経営本部人事総務課係長が、日常的に大量の返品を目的にしている。何か再利用できないか考え、誕生した。

業に参画。それ以来、高校採用などで沖縄県との関係が続いている。また、2024年秋頃の竣工を目指して南風原町の倉庫建築プロジェクトも進行している。農林水産省によると、日本国内で年間約600万トンのフードロスがあり、日本人あたり毎日茶碗1杯、約136gの「食べられる食糧」を捨てていることになる。